

令和2年度第11回教育研究評議会議事録

日時 令和3年2月17日(水) 14:30～16:05 TV会議
場所 事務局5階大会議室、事務局別館1A会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、池田、大場、手島、寺村、小谷、河合、笹原、
白井、日詰、田島、江口尚、熊倉、近藤、田中、北村、川田、喜多、森田、
鳥山、江口昌、原、三村、朴、澤田の各評議員
大島副学部長（小西委員の代理）
陪席者 鈴木、河島の各監事、青木、藤井、宮原の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

令和2年度第9回教育研究評議会議事録（案）及び令和2年度第10回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1-1により、合意書締結後の会議等の開催状況、資料1-2により、第26回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和3年1月28日）の報告があった。

<議長の主な説明>

- ・ 連携協議会の報告は、1月29日の合同記者会見を含め、2月3日の企画戦略会議で行っているので、省略する。

2 静岡大学全学教育科目規程の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学全学教育科目規程の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学における内部質保証に関する方針について

河合委員から、静岡大学における内部質保証に関する方針について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 全学内部質保証体制の再編に伴う関連規則の整備について

河合委員から、全学内部質保証体制の再編に伴う関連規則の整備について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 静岡大学における海外渡航に係る危機管理規則の一部改正について

白井委員から、静岡大学における海外渡航に係る危機管理規則の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 静岡大学におけるバイアウトの実施に関する規則の制定について

木村委員から、静岡大学におけるバイアウトの実施に関する規則の制定につい

て、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 国立大学法人静岡大学テニユアトラック制に関する規則の一部改正について

木村委員から、国立大学法人静岡大学テニユアトラック制に関する規則の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、参考資料2の各領域が定めている内規の具体的な改正内容について質問があり、木村委員から後日指示するとの回答があった。

8 国立大学法人静岡大学国際交流会館規則の一部改正について

白井委員から、国立大学法人静岡大学国際交流会館規則の一部改正について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、先々は日本人学生の入居者に対し、ある程度の役割をお願いすることであるが、今回の募集時には事前に伝えるのかとの質問があり、白井委員から、国際交流会館の入居は1年となっているため、今年4月からは実施せず、令和4年度から役目をつけて募集する予定であるとの回答があった。また、議長から、他大学のレジデント・アシスタントを調査し、対応を検討する予定であるとの説明があった。
- ・ 小谷委員から、募集の際に入居が1年という限定的であると明示されているのかとの質問があり、白井委員から募集の際にしっかりと明示する方向で検討しているとの回答があった。

9 令和3年度の年度計画等の策定について

東郷委員から、令和3年度の年度計画等の策定について、資料9により提案があり、意見交換を行った。

なお、議長から、本件は、部局に持ち帰り、2月26日までに検討いただき、次回の本会議で議論したいとの発言があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、数値目標を下方修正することは可能であるのかとの質問があり、東郷委員から、令和3年度の年度計画の変更は行わないことを確認しており、上方修正はできるが下方修正はできないため、近づける努力をしていただきたいとの発言があった。

10 令和3年度非常勤講師所要時間数について

丹沢委員から、令和3年度非常勤講師所要時間数について、資料10により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

11 女性活躍推進法に基づく次期行動計画の策定について

笹原委員から、女性活躍推進法に基づく次期行動計画の策定について、資料11により改正女性活躍推進法の概要、数値目標案の提示と現状等の説明があった。

なお、議長から、本件は、部局に持ち帰り検討いただき、次回の本会議で議論したいとの発言があった。

1 2 共同研究講座の受入れについて

木村委員から、共同研究講座の受入れについて、資料1 2により提案があり、審議の結果、これを承認した。

1 3 留学生向け修学支援事業の創設について

白井委員から、留学生向け修学支援事業の創設について、第9回評議会での審議を踏まえた変更点を含む提案が、資料1 3によりあり、審議の結果、原案どおり承認した。

また、白井委員から、以下の3点の依頼があった。

- ① 次回の本会議で各学部の対象者の選考方法を報告したいため、3月10日までに、A（日本語100点、英語100点、合計200点）、B（日本語100点）、C（学部が指定する方法）のいずれかを選択いただきたい。
- ② 国際連携推進機構で作業を行うことを想定しているため、必要書類の提供をお願いしたい。
- ③ 本事業は授業料不徴収枠の未使用分を活用するため、大学院総合科学技術研究科には40名の枠を大幅に超えないよう注意いただきたい。

Ⅲ 報告事項

1 令和2年度第11回企画戦略会議（令和3年2月3日）報告

議長から、令和2年度第11回企画戦略会議（令和3年2月3日）について、資料1 4により報告があり、留学生等の受入確認の徹底について周知依頼があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 田中委員から、第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱（仮称）（素案）について学部で報告したところ、「I 教育研究の質の向上に関する事項」20項目の中から10項目選択し、学長が提案されているが、新執行部の意見を十分発揮させる必要があること、当然やるべき事項としてダイバシティと国際を外されているが実施可能な取組については、計画を練りつつ実行性の高いものを選択する方法もあるのではないかとの意見があったとの発言があった。これに対し議長から、今後の中期目標・計画の策定にあたっては、各項目についての大学としての修正の範囲や運営交付金配分のルールとの関係等不透明な部分が多いため、年度内に出来る作業は行い、次年度には新執行部で十分に議論していただきたいとの発言があった。

2 次期部局長等候補者について

議長から、次期部局長等候補者について、資料1 5により報告があった。

3 顧問の委嘱について

議長から、顧問の委嘱について、資料1 6により報告があった。

4 教員採用等報告について

議長から、教員の採用2件、昇任9件について、資料1 7により報告があった。

5 令和3年度入学試験出願状況について

丹沢委員から、令和3年度入学試験出願状況について、資料18により報告があった。

6 令和元年度決算検査報告説明会について

手島委員から、令和元年度決算検査報告説明会について、資料19により報告があった。

IV その他

1 令和2年度学位記授与式及び令和3年度入学式について

議長から、令和2年度学位記授与式及び令和3年度入学式について、資料20により案内があった。

2 サステナビリティセンター先端学術シンポジウムの開催について

丹沢委員から、令和3年2月28日にオンライン開催するサステナビリティセンター先端学術シンポジウムについて、資料21により案内があった。

以上